



2025 年度 海外現地実習（オーストラリア） 参加レポート

国際交流学部 国際交流学科 2 年

研修に参加した理由や目的

高校生の時に短期研修でオーストラリアに滞在した経験から、再びオーストラリアで学びたいと考えており、大学では英語を話す機会が限られていたため、長期休みを利用して実際に英語を使う経験を積み、語学力を向上させたいと思いました。

また、研修を通じて異文化に触れることで、多様な価値観を学び、自分の今後の学習や授業への取り組み方を考えるきっかけにしたり、現地で積極的にコミュニケーションを取ることで、英語を口に出すことに慣れ、間違いを恐れずに話す姿勢を身に付けることも目的としていました。この研修を通して、語学力だけではなく、人間関係や異文化理解を含めた幅広い学びを得ることを期待していました。

研修を通じて経験したこと・気づいたこと・学んだこと

研修を通じて、英語を練習することよりも、英語を使って人間関係を築くことの方が何より大切だと感じました。それは時に難しい部分もあり、母国語ではない英語を使うことで誤解を招く表現をしてしまうこともありました。

しかし、現地で良好な人間関係を築くことが重要であると理解すると、困った時には助けてもらえることも分かりました。その人間関係は、英語で話さなければ始まらないため、とにかく話すことの重要性に気づきました。また、ホストマザーとの会話を通して、良い・悪いを明確に伝えることや、自分の意思をしっかりと示すことが、英語で円滑にコミュニケーションを取る上で大切であることにも気づかされました。

今後の目標や研修参加を検討している方へのアドバイス

英語の上手い・下手に関わらず、英語を話そうとする姿勢は現地で非常に好印象として受け取られるため、積極的に英語を使いたいと思っている方にはこのプログラムはとてもおすすめです。

また、語学学校でのクラス分けによって、英語漬けの環境に身を置けるかどうかが大きく左右されることがあります（下のクラスは日本人が多くなる傾向がある）。そのため、出発前に行われるクラス分けテストで高得点を取る準備をしておくことが重要であり、英文法や語彙の復習をしておくことが良いと思います。また、英語で積極的に話す経験を通して、現地での人間関係作りやコミュニケーション能力の向上にもつながるので、事前の準備と積極的な姿勢の両方が大切だと思います。



FERRIS
UNIVERSITY

